

重大な労災が起きるまでには数々の軽微な事故や異常があつて、それらの割合は1対29対300となる。これが「ハイリッヒの法則」だ▼人間のすることとは似たようなものなのか、この法則は交通事故などいろいろな分野に当てはまるらしい。

が、沖繩の実情を知るにつけ、そう簡単に割り切れなくなる▼宜野湾市の小学校の校庭にきのう米軍ヘリの窓枠が落下した。金属製で約1.5四方もあった。6人ほどが居合わせていて、このうち児童1人に小石が当たった▼ちょうど1年前、名護市沿岸部に米軍の輸送機オスプレイが不時着し大破した。きのうは、そんないわくつきの日だった。よ

りにもよって…と怒るのは感情的にすぎるだろうか▼というのも、

宜野湾市では7日にも先の小学校から約1キロ離れた保育園に円筒状の物体が落下しているからだ。海兵隊のヘリの部品だが、米軍は落としていないと否定している▼ハイリッヒの法則を念頭に分類すれば、オスプレイの大破は重大事故だろう。では、窓枠の落下は何だろう。大げげでないから、と「軽微」といえるのか。保育園の場合は「異常」なのか▼とんでもないと首を振りたい。間違っても落ちてはいけない場所に物体が落下した現実は、重大でなくて何か。沖繩に例の法則を適用してはならない。在日米軍施設の7割がある限り、起きるのは常に重大事故だ。

### 越山若水

2017.12.14

の法則を念頭に分類すれば、オスプレイの大破は重大事故だろう。では、窓枠の落下は何だろう。大げげでないから、と「軽微」といえるのか。保育園の場合は「異常」なのか▼とんでもないと首を振りたい。間違っても落ちてはいけない場所に物体が落下した現実は、重大でなくて何か。沖繩に例の法則を適用してはならない。在日米軍施設の7割がある限り、起きるのは常に重大事故だ。